

スパークプラグ(白金・イリジウム)の交換

点火不良によりエンジン不調、燃費悪化!

電極の消耗等により点火ミスが発生し、燃焼不良状態になります。

パワーステアリングオイル(ホース)の交換

ハンドル操作がスムーズでなくなる!

パワーステアリングオイルの劣化により構成部品がスムーズに作動しなくなる可能性があります。ホースが劣化してオイル漏れを起こすと、最悪、車両火災に至る可能性があります。

エンジンマウントラバー及びブラケットの状態



エンジンルームからガタガタ音と振動が発生!

ゴム部品等の劣化により亀裂や損傷が発生しショックを吸収できず、異音や振動につながる恐れがあります。

ラジエータキャップの状態



オーバーヒート!

ラジエータキャップの機能により、通常冷却水の沸点は100℃超に保たれています。ラジエータキャップが損傷すると、沸点が下がり冷却水が沸騰し、あふれ出すことでオーバーヒートする可能性があります。

クーラント(LLC、冷却水)の交換

キャブの下から水蒸気が! オーバーヒート!

指定の交換時期を過ぎたまま使用し続けると、腐食防止性能が低下し、エンジン内やラジエータ内を腐食させ、錆などが冷却水の通路を詰まらせてオーバーヒートしたり、ラジエータに穴が開き、冷却水漏れを起こす可能性があります。

ブレーキ倍力装置のゴム部品(インナーキット・バキュームホース)の交換



ブレーキの効きや戻りが悪くなる!

バキュームホースの破損や、ゴム部品の劣化・膨潤からシール性が失われ、倍力機構が働かず停止距離が長くなる、またブレーキの引きずりを起こし、最悪、車両火災に至る可能性があります。

長期使用車両の故障事例トラック編

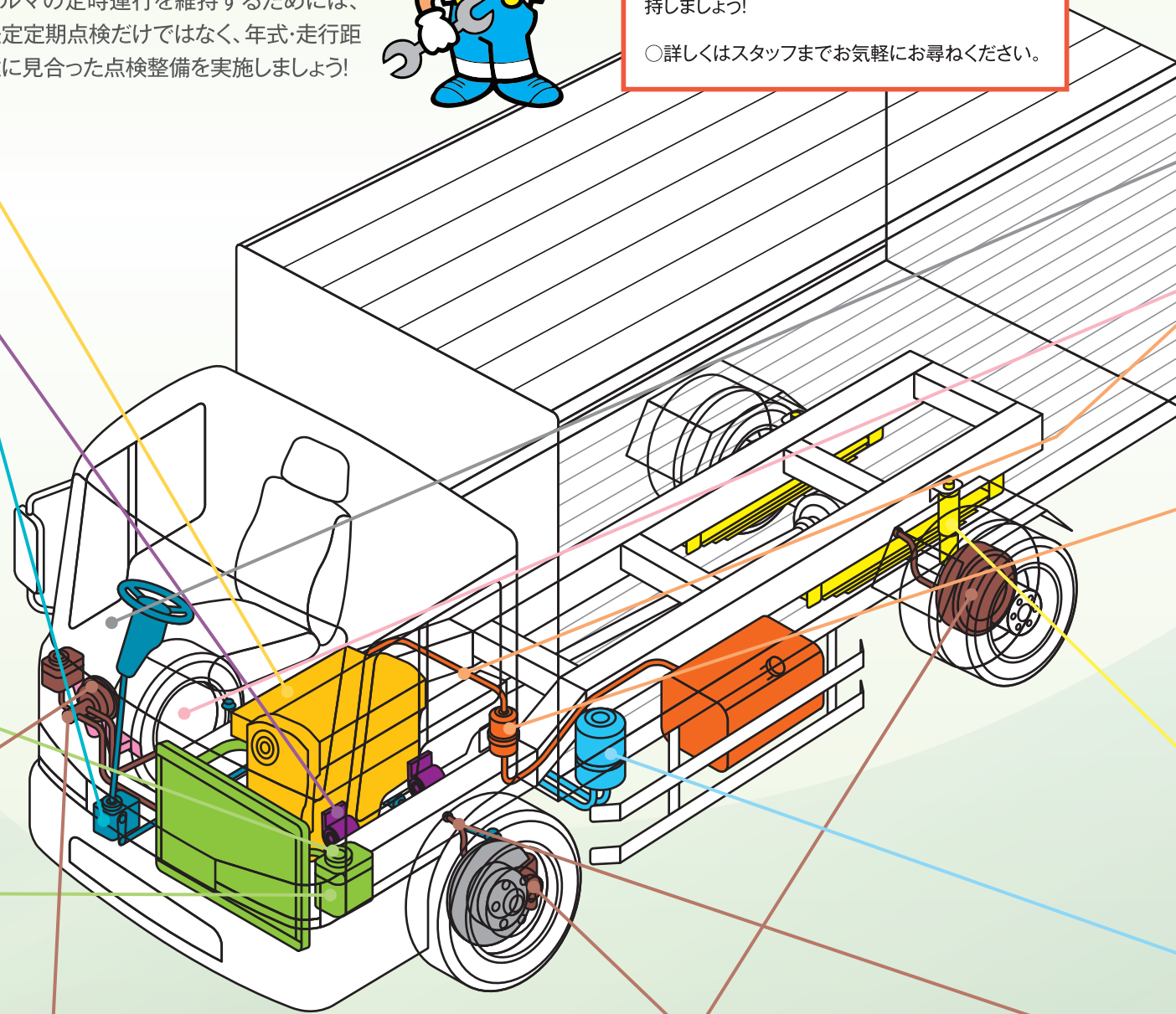
長期間使用したクルマは、ユーザーの皆様が気付かないうちに摩耗・劣化しており、このような状態で使用し続けると、突然重度の故障に陥り、多額の出費が必要になるだけでなく、交通事故に繋がる恐れがあります。これらを未然に予防し、クルマの定時運行を維持するためには、法定定期点検だけでなく、年式・走行距離に見合った点検整備を実施しましょう!



長期使用車両の推奨点検とは?

長期使用による、摩耗や劣化が起きやすい箇所をピックアップし推奨点検項目としました。法定定期点検に加えて、長期使用車両に特化した推奨点検整備を実施して、クルマの定時運行を維持しましょう!

○詳しくはスタッフまでお気軽にお尋ねください。



インジケータランプの点灯状態



車の不調に気付かずに重症に!

警告灯のランプが切れていると、車の不調やトラブルが起きた際にドライバーに情報が伝わらず、重度の故障に繋がる恐れがあります。

各種ペダルパッドの摩耗



ペダルを踏む際に滑りやすくなる!

ブレーキ、アクセル、クラッチ等のペダルパッドが摩耗すると、滑りやすくなります。

フューエルホースの交換(エンジンルーム)

燃料漏れによる臭い! 最悪、車両火災に!

ゴム素材のため、振動や伸縮の繰り返しやエンジンルーム内の熱気によりホースが劣化することで、燃料漏れが発生し、最悪、車両火災に至る可能性があります。

フューエルフィルタの交換

エンジン不調!エンジンが掛からない!

フューエルフィルタに異物がたまり、適正な量の燃料を供給できなくなり、エンジン不調の原因になります。

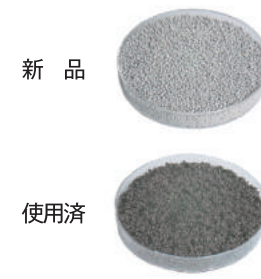
サスペンションの状態(機能の低下)



段差で車が跳ねる!

長期間の使用により、ショックアブソーバー及びスプリングがへたると、段差で車が跳ねやすくなったり、揺れが収まりにくくなり、乗り心地が悪くなります。

エアドライヤーの乾燥剤(ゴム部品)の交換



ブレーキの効きや戻りが悪くなる!

エアの除湿作用が低下し、エアタンクや配管内に水分が浸入することで、ブレーキ機器の腐食や劣化が進行し、エア漏れが発生することで制動力が低下し、停止距離が長くなる、またブレーキの引きずりを起こす可能性があります。なお、寒冷地では水分が凍結し、ブレーキ機器や配管が詰まる恐れがあります。

ブレーキマスターシリンダー・ブレーキバルブのゴム部品(インナーキット)の交換



ブレーキの効きや戻りが悪くなる!

ディスクキャリパー・ホイールシリンダー・エキスパンダー・ブレーキチャンバーのゴム部品(インナーキット)の交換



ブレーキホースの交換



各種ゴム部品の劣化・膨潤からシール性が失われ、倍力機構が働かず停止距離が長くなる。またブレーキの引きずりを起こし、最悪、車両火災に至る可能性があります。